

第57回 全日本弓道大会実施要項

主催 財団法人 全日本弓道連盟
 後援 京都府・京都府教育委員会・(財)京都府体育協会・京都市・京都市教育委員会・(財)京都市体育協会
 主管 京都府弓道連盟
 期日 平成18年5月4日(木)・5日(金)
 会場 『濟寧館 弓道場』...京都市御苑内, 皇宮警察京都護衛署内
 (道順) 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車, 徒歩10分。

『武道センター弓道場』...京都市左京区聖護院円頓美町(平安神宮となり)
 (道順) JR京都駅から 番系統バスに乗車, 平安神宮前で下車, 徒歩5分。
 JR京都駅からタクシー利用で15分。

内容 (1) 種類 個人戦
 (2) 種目 近的競技
 (3) 種別 演武 = 範士・教士・錬士・有段者・海外弓友の5部
 競技 = 教士・錬士・有段者の3部

参加資格 (1) 本連盟に所属する会員。(海外弓友の部はこの限りではない)
 (2) 各種別の資格は, 次のとおり。
 範士・教士・錬士の部.....本連盟の称号受有者
 有段者の部.....本連盟の四段以上の受有者(称号者は除く)
 海外弓友の部.....海外友好団体(連盟)の会員であること
 本大会は, 大会役員ならびに競技役員も参加できる。

日 程	月 日	会 場		日 程	
5月4日(木)	濟寧館	第1射場	9:00	開会式 / 矢渡	
			10:00	海外弓友の部 演武 錬士の部 演武・決勝/範士の部 演武	
		第2射場	10:00	錬士の部 演武	
5月5日(金)	濟寧館	第1射場	9:00	教士の部 演武・決勝	
		第2射場	9:30	教士の部 演武	
	武道センター	第1・第2射場	9:00	有段者の部 演武・決勝	

演武・競技方法

- (1) 演武は, 各部とも一手1回とする。
- (2) 演武及び競技は, 「競技の間合」で行い, 1立(5人)6分程度とする。
- (3) 範士の部, 海外弓友の部は演武者の中から優秀者を選出する。
- (4) 競技出場者は, 各部とも演武皆中者の中から選出する。
- (5) 競技は, 射詰競射にて行う。36cm霽的を使用し, 3射目からは24cm星的を使用する。

表彰

- (1) 範士の部は, 優秀者を表彰する。
- (2) 海外弓友の部は, 皆中賞及び優秀者を表彰する。
- (3) 教士・錬士・有段者の各部は, 5位までを表彰する。
- (4) 表彰式は, 各会場ごとに行う。

競技規定 財団法人 全日本弓道連盟弓道競技規則による。

参加料 1名: 2,000円

申込締切 (1) 締切日 平成18年3月30日(木) 締切厳守
 と申込先 (2) 申込先 〒150-8050 財団法人 全日本弓道連盟 宛
 TEL 03 3481 2387(代)
 FAX 03 3481 2398
 地連締切 3月24日

- 注意事項 (1) 申込書は, 所定の用紙(月刊『弓道』平成18年2月号折込)を用い, 必要事項を楷書で判りやすく, 明確に記入すること。会員IDを必ず記入すること。
 海外弓友の部の参加申込書は別途様式を用意, 海外友好団体宛に送付する。
 (2) 申込書は, 参加料を添え, 所属地連を経て提出すること。所属地連の締め切りに十分留意すること。
 (3) 地連会長の認許印及び参加料の添付のない申込書は受理しない。
 (4) 出場者の服装は, 弓道衣または和服とする。
 (5) 出場者は, 受付にて「ゼッケン」を受け取る。(競技終了後に返却のこと)
 (6) 出場者は, 必ず本連盟の「会員章」をつけて会場に出入りすること。
 (7) 出場者は, 健康保険証を持参すること。
 (8) 会場には駐車場がないので, 来場の際は公共機関等を利用のこと。

その他

- 大会申込書に記載される個人情報の利用目的について
 大会申込書の提出により, 以後の関係資料について下記取り扱いの旨, 承諾を得たものとする。
 (1) 大会プログラムならびに事務連絡文書への記載(氏名, 所属地連, 称号・段位)
 (2) 大会結果報告への記載(氏名, 所属地連, 称号・段位)
 (3) 本連盟刊行物(機関誌など)への記載(氏名, 所属地連, 称号・段位)